

2014年3月期 第1四半期 決算短信補足資料

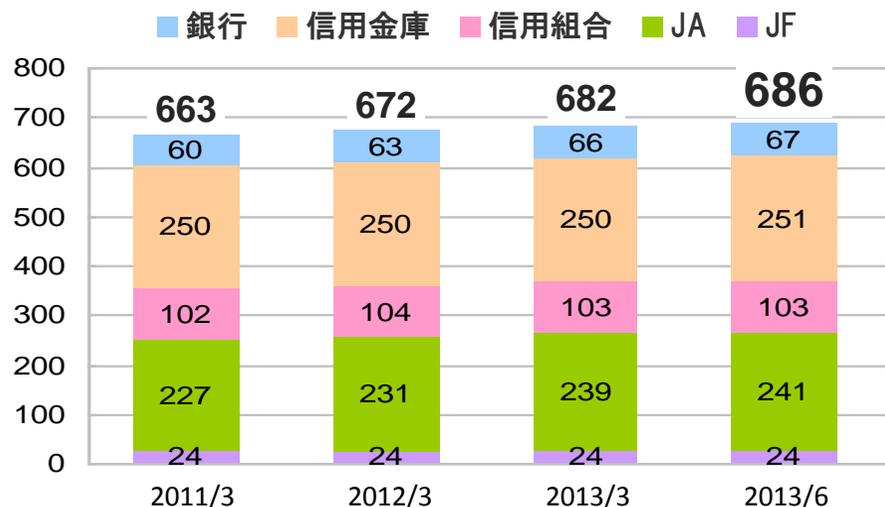
全国保証株式会社

2013年8月

提携金融機関数の拡大状況

業態別の提携金融機関数の推移

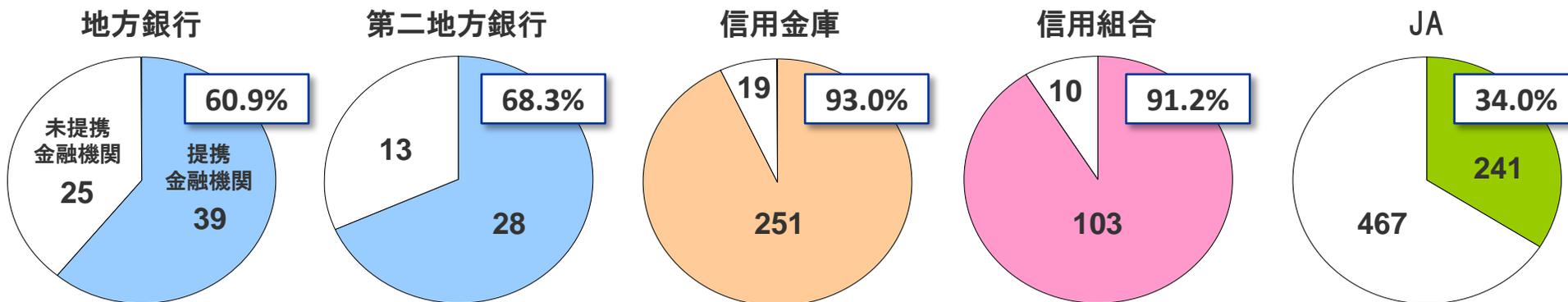
(単位:機関)



- 新規提携増加に努めた結果、2014年3月期 第1四半期は銀行1行、信用金庫1金庫、JA2組合と契約締結
- 信用金庫、信用組合との提携率は90%以上
- 住宅ローンの貸出残高が大きい未提携の地方銀行が残存 ⇒引き続き地方銀行を中心に営業推進を加速

業態別の提携シェア

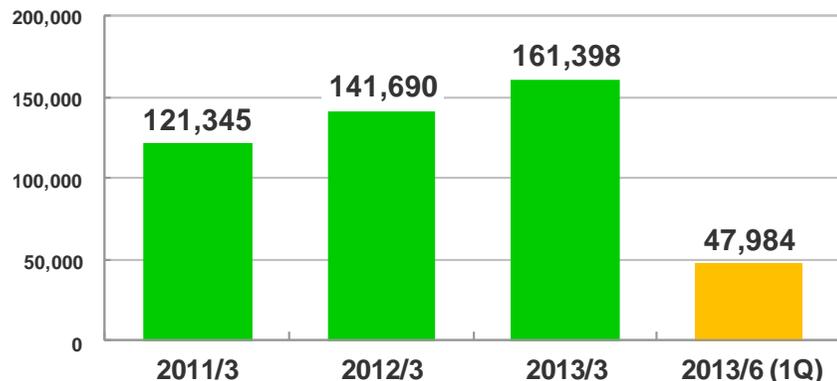
(単位:機関)



ローン保証業務の拡大状況

新規保証受付件数

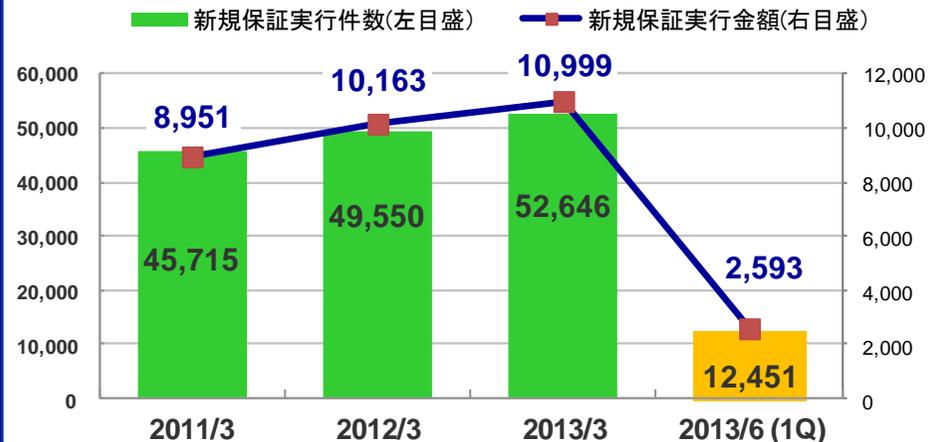
(単位:件)



民間金融機関住宅ローン保証に係る数値

新規保証実行件数及び新規保証実行金額

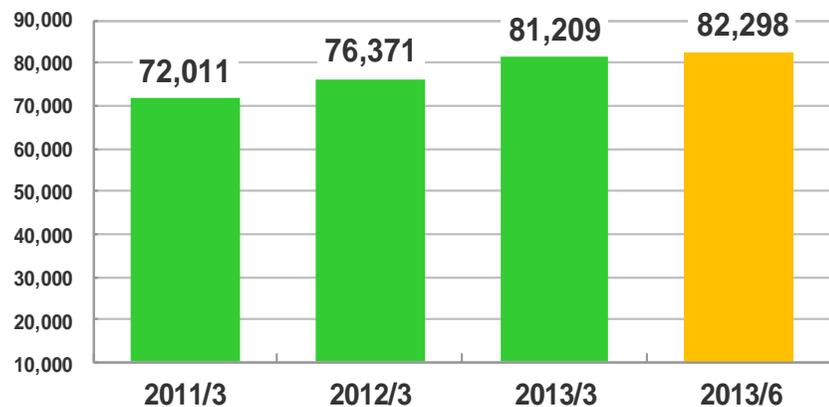
(単位:件、億円)



民間金融機関住宅ローン保証に係る数値

保証債務残高

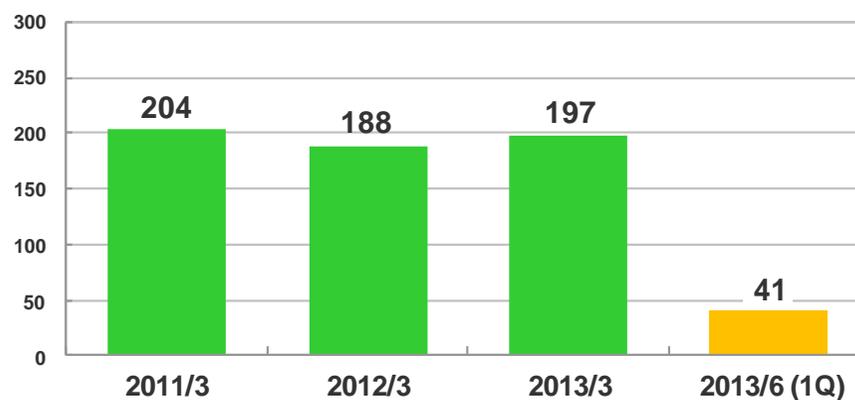
(単位:億円)



※当第1四半期会計期間の保証債務残高について、一部推計値を使用

代位弁済金額

(単位:億円)



2014年3月期 第1四半期決算サマリー(P/L)

(単位:百万円)

	13/3期	14/3期 第1四半期	年度計画 進捗率	年度計画
営業収益	25,030	5,382	20.2%	26,630
営業費用	14,296	2,886	18.2%	15,830
うち与信関連費用	9,893	1,764	15.7%	11,215
うちその他	4,403	1,122	24.3%	4,615
営業利益	10,733	2,496	23.1%	10,800
経常利益	11,361	2,916	25.0%	11,670
特別損益	158	21	—	—
当期(四半期)純利益	6,807	1,866	26.6%	7,010
ROE	17.30%	—	—	15.80%

※年度計画は2013年5月7日発表の業績予想数値

ポイント

●営業収益

提携金融機関の利用率向上と好調な住宅市場の影響により、実行件数および保証債務残高が順調に増加。
当四半期の営業収益は53億82百万円を計上。

●営業費用

代位弁済発生の抑制および求償債権の回収が順調に進み、与信関連費用が抑制。
その結果、当四半期の営業費用は28億86百万円を計上。

●当期純利益

上記の状況により、四半期純利益は18億66百万円を計上。

2014年3月期 第1四半期決算サマリー(B/S)

	資産の部 (単位: 百万円、%)		
	13/3期末	14/3期 第1四半期	増減比
流動資産	125,264	119,521	▲4.6
現金及び預金	103,385	100,748	▲2.6
求償債権	19,478	20,538	5.4
貸倒引当金	▲11,236	▲12,570	11.9
固定資産	51,149	56,449	10.4
投資その他の資産	50,479	55,797	10.5
投資有価証券	42,873	45,158	5.3
資産合計	176,414	175,971	▲0.3

	負債の部 (単位: 百万円、%)		
	13/3期末	14/3期 第1四半期	増減比
流動負債	24,955	22,604	▲9.4
前受収益	10,952	11,201	2.3
債務保証損失引当金	8,758	9,188	4.9
固定負債	112,118	113,687	1.4
長期前受収益	109,193	110,712	1.4
長期未払金	2,772	2,834	2.2
負債合計	137,074	136,291	▲0.6
純資産の部			
株主資本	39,692	40,079	1.0
債務保証積立金	20,000	23,300	16.5
評価・換算差額等	▲352	▲399	13.4
純資産合計	39,339	39,679	0.9
負債・純資産合計	176,414	175,971	▲0.3

ポイント

●資産合計

「投資その他の資産」が53億17百万円増加したことに伴い、「現金および預金」、「有価証券」が57億33百万円減少

●負債合計

新規保証実行件数、保証債務残高が順調に増加したことにより、「前受収益」、「長期前受収益」が増加

業績予想

(単位:百万円、%)

	13/3期	14/3期 (予想)	増減比	第2四半期 予想
営業収益	25,030	26,630	6.4	10,880
営業費用	14,296	15,830	10.7	7,670
うち与信関連費用	9,893	11,215	13.4	5,360
うちその他	4,403	4,615	4.8	2,310
営業利益	10,733	10,800	0.6	3,210
経常利益	11,361	11,670	2.7	3,620
特別損益	158	0	—	0
当期純利益	6,807	7,010	3.0	2,170
配当	43円	44円	1円	0
ROE	17.30%	15.80%	—	—

ポイント

保証事業の拡大、収益基盤の強化、リスク管理体制の強化を行い、中期経営計画の実現に向け着実に前進。

●保証事業の拡大

地方銀行等との新規契約に向けた取組み強化・既存契約先からの保証案件増強によるマーケットシェアの拡大。

- ・新規保証実行件数 58,000件
- ・提携金融機関数 700機関
- ・保証債務残高 8兆6千55億

●収益基盤の強化

多数の金融機関との提携を活用したニーズの取込、商品やサービスの提供を行ない収益基盤の強化を図る。

●リスク管理体制の強化

リスク管理の実効性確保に向けた強化、リスクコントロールと収益管理により財務基盤を強化。

- ・前期の代位弁済の減少要因となった条件変更実施先の管理と保証債務残高の増加による与信コストへの影響を抑制。
- ・求償債権の回収期間の短縮化と回収金額の増大化。